

「秋田県立大学ウェブジャーナルA」の創刊にあたって

秋田県立大学学長 小間 篤

秋田県立大学は、「21世紀を担う次代の人材育成」と「開かれた大学として、秋田県の持続的発展に貢献」することを理念として、1999年に創立され、この3月で満15年を迎える。この間、教育、研究、地域貢献の各分野でさまざまな活動に積極的に取り組み、多くの成果を挙げてきた。特に、地域貢献活動については、全国の大学と比べても意識の高い教員が多く、純米吟醸酒、低カリウムホウレンソウ、食肉除骨装置、廃木材ブロックなど20品目以上の実用化を果たす一方、共同研究、受託研究、技術相談等の産学連携活動、八郎湖や千秋公園外堀の水質浄化等の地域環境改善活動、公開講座・公開講演会開催、菜の花まつりを始めとする地域行事共催などの地域交流活動、出前授業、科学教室主催、スーパーサイエンスハイスクールとの連携協力協定締結などの地域教育支援活動等、幅広い分野で積極的な地域貢献活動を行ってきた。

上述のような多岐にわたる地域貢献に関する活動については、いままでパンフレット、報告書、成果発表会等を通じて発信してきたが、周知知らせるという点では限界があった。そこで本学では、「秋田県立大学ウェブジャーナルA」を発刊し、地域貢献活動の成果をインターネットを通じてより広く発信することとした。ジャーナルの本文は日本語を原則としているが、日本語圏以外の読者にも概要が分かるよう、すべての論文には英文タイトルと英文要旨を付けている。またプリントアウトした論文に付けるハードカバーを用意して、必要に応じて、論文別刷りを容易に配付できるようにしている。更に、ウェブジャーナルAについては、一定部数を冊子体の形で印刷して各種公共機関等を通じて地域の方々に読んでいただけるようにしている。なお、ウェブジャーナルAはインターネットで本学ホームページの次のURLで読むことができる (<https://akita-pu.repo.nii.ac.jp/>)。本冊子では白黒で印刷されている写真等の多くもカラーで見ることができるので、ぜひご覧いただければ幸いである。

今後地域貢献活動に加え、研究活動や教育活動等についてもウェブジャーナルで発信していく予定であり、ウェブジャーナルAに引き続き、研究活動に関する成果を掲載する「ウェブジャーナルB」を平成26年中に発刊予定である。

ウェブジャーナル発刊の目的には、情報発信という目的に加え、本学の教職員の活動を論文の形で整理して記録し、教職員各自の実績として目に見える形にするという意味合いも含まれている。ウェブジャーナルの発刊によって、今後本学教職員による種々の活動が多くの方に理解され、また教職員の活動が一層活性化することを期待したい。

平成26年3月